

食欲の秋がやってきました。今月はみんなが大好きなおかしの本です。

『おかし』

なかがわ りえこ／ぶん やまわき ゆりこ／え 福音館書店 2013年 1365円

<お勧め年齢>

乳幼児☆☆☆ 小低学年★★☆ 小中学年★★★ 小高学年★☆☆ 中学生☆☆☆  
高校☆☆☆ 一般☆☆☆

(★が多い年齢の子どもにお勧めです。)

<本の紹介>

なおきはおかしが大好きな3年生の男の子。今日もおいしいおかしで心もおなかも大満足。

でも、おかしはおいしいだけじゃありません。ときにはきびしく、ときにはたのしく、やさしく、そしてはたらきものなんです。

なおきがたべてきたおかし、なおきがそうぞうするおかし、そしてなおきをしあわせにしてくれるおかし。おかしを食べていなくてもよむだけでおかしを食べたときのようなしあわせな気持ちになれます。そして、きっとおなかがすくでしょう。



<子どもに手渡すときのポイント>

今年誕生50周年を迎える「ぐりとぐら」の黄金コンビが贈る、おかしの魅力を余すところなく伝えてくれる1冊です。科学の本ともいえませんが、やさしい物語がベースになっているので低学年の子どもも読んであげれば十分楽しめます。

このコーナーで紹介した本はお近くの図書館や書店にあります。ぜひ手に取ってみてください。